岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 116

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教 科	農業	科 目	地域資源活用	単位数	2	学年・学科	2学年・E科
教科書	実教出版「地域資源活用」	副教材					

学習目標	人間と自然との関係を知り、自然を理解する知識を養いながら、農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得し、地域資源の有用性を理解します。地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を身に付けます。
学習方法	○ 本校の学習林(防風林)等を活用しながら、農林業の特色や地域資源等に関する総合的な学習を行います。 ○ 森林空間の多面的利用として、公益的機能を活かし、さらに発揮させる森づくりの在り方や林産物生産活動の実際について学習します。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 (専門教科は知識・技術)	人間と自然との関係を知り、自然を理解する方法や手段を理解し、、農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付け、農林業・農山村の特色や地域資源重要性を理解している。
	b	思考・判断・表現	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識や技術を基に諸課題を合理的に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	農林業・農山村の特色や地域資源・自然の動植物に興味・関心を持ち、農林業・農山村の現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。図ろうとする創造的、実践的、意欲的な態度を身に付けている。

		重み付け	考査	考査外
前期中間		100%	70%	30%
	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
前期末		100%	70%	30%
	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
後期中間		100%	70%	30%
	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
後期末		100%	70%	30%
	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	第1章 地域資源活用とは 1 人間生活と地域資源活用 (1)ながく自然のなかで暮らしてきた人間 (2)私たちの暮らす社会 (3)地域資源活用とは 2 農山村と都市の現状と変化 (1)農山村の現状と変化 (2)都市の現状と変化 (3)農山村と都市の連携	○人間も自然の一部であり、同時に地域のコミュニティに根ざして生活していることを理解します。	○	○	○	a 人間と自然との関係を知り、自然を理解する方法や手段を理解している。農林業・農山村の特色に関する基礎的な知識・技能を身に付け、その重要性を理解している。 b 農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その考えを表現する創造的な能力を身に付けている。 C 地域に根ざした自然の動植物に興味・関心を持ち、これらを利用して、農林業・農山村の課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	・行動観察 ・小テスト ・授業ノート ・定期考査
		○岩手県の林業・山村の特色や地域資源の重要性について理解します。	○	○	○		
		○森林空間利用の観点から地域資源としての農作物の活用を図り、理解を深める。	○	○	○		
		○農山村および都市の歴史や役割の変化について理解します	○	○	○		
		○農山村における自然と共生した暮らしについて理解します。	○	○	○		
		○都市での農的空間の現状と意義について理解します。	○	○	○		
前期末	3 地域社会の変化と社会的企業活動 (1)地域社会の現状と課題 (2)地域社会における課題解決に向けて (3)社会的企業家	○地域社会、コミュニティの変化と現状・課題について理解します。	○	○	○	a 農林業・農山村の特色に関する基礎的な知識・技能を身に付け、その重要性を理解している。 b 農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、合理的に判断する創造的な能力を身に付けている。 C 農林業・農山村の課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	・行動観察 ・小テスト ・授業ノート ・定期考査
		○社会を支える公共・社会・経済活動について理解します。	○	○	○		
		○社会的企業家について理解します。	○	○	○		
		○地域資源としての空き地を利用した耕作地の活用について実践し、理解する。			○		
後期中間	第2章 農林業・農山村の魅力と地域づくり 1 農林業・農山村の魅力 (1)農林業の魅力 (2)農山村の魅力 (3)新たな魅力づくり 2 身近な地域資源の発見と活用 (1)地域資源の発見 (2)地域資源の保全と活用 (3)地域での暮らしと愛着	○農林業の特徴を知り、その魅力を理解します。	○	○		a 農林業・農山村の特徴や魅力に基礎的な知識・技能を身に付け、その重要性を理解している。 b 農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、合理的に判断し、その考えを表現する創造的な能力を身に付けている。 C 地域資源の活用に興味・関心を持ち、これらを利用して、農林業・農山村の課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	・行動観察 ・小テスト ・授業ノート ・定期考査
		○農山村の特徴を知り、その魅力を理解します。	○	○	○		
		○林産物生産などを取り入れた新たな魅力を理解します。	○	○	○		
		○岩手県の山村文化を調査し、その地域資源について理解します。	○	○	○		
		○地域資源の保全と活用に関して、農村の暮らしの歴史から今を知り、資源の活用を考えます。			○		
後期末	3 農山村の資源と景観の特質 (1)農山村の環境 (2)農山村の景観 (3)農山村の文化と人 4 地域づくりとグリーンライフ活動 (1)地域づくりは (2)ワークショップの方法 (3)地域におけるグリーンライフ活動の進め方	○自然環境と農山村における環境の特徴について理解します。	○	○	○	a 人間と自然との関係を知り、自然を理解する方法や手段を駆使しながら、農林業・農山村の特色に関する基礎的な知識・技能を身に付け、その重要性を理解している。 b 農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して総合的に思考を深め、その考えを表現する創造的な能力を身に付けている。 C 農林業・農山村の課題の改善を目指して、その魅力に気づき、地域資源の活用について主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	・行動観察 ・小テスト ・授業ノート ・定期考査
		○自然環境と農山村の景観ついて理解します。	○	○	○		
		○農山村の文化と人について理解します。	○	○	○		
		○歴史や資源を生かした地域づくりの考え方を理解します。	○	○	○		
		○ワークショップの方法について理解します。	○	○	○		
		○人々の連携や役割分担など、地域づくりにおけるグリーンライフの進め方について理解します。			○		